

# 進路だより

第3号  
令和6年1月16日  
進路指導課

第3号は高等部の第2回産業現場等における実習についてお知らせします。

## I 令和5年度第2回高等部産業現場等における実習

### (1)実習先と実習内容

#### ア 企業：2人

・在宅ワーク（データ入力、書類作成、ビジネスマナー研修）

#### イ 就労継続支援A型：2人

・調理補助（食器洗浄業務） ・在宅ワーク（データチェック、マーケティング等）

#### ウ 就労継続支援B型：5人

・自動車部品の組み立て ・部品の梱包（袋詰め） ・野菜の袋詰め

#### エ 生活介護：9人

・制作活動（キャンドル作り下準備） ・個別活動 ・自動車部品の加工

・レクリエーション活動（楽器演奏鑑賞、スヌーズレン、散歩、） ・野菜の袋詰め

#### オ 校内実習：1人

・個別活動、レクリエーションを校内で実施



### (2)実習を振り返って

高等部1年生は初めての实習で緊張もありましたが、決められた期間内やり遂げることができました。初日は積極性や挨拶の声小さいことなど、態度面で実習先に御指摘をいただきましたが、日数を重ねるごとに改善したと評価をいただきました。

2年生は3回目の実習になりますが、それぞれの目標を達成するために実習に臨みました。企業では、在宅ワークのコミュニケーションアプリが企業ごとで違ったり、時間によって使用するツールが変わったりすることがありました。用途は同じでも違うアプリを使い分ける力が必要であることが分かりました。

就労継続支援A型、B型の実習では、仕事に向かう態度について良い評価をいただきました。一方、今後就労を目指すのであれば、作業効率については不十分という課題もいただきました。

生活介護の実習では、実習先によって様々な活動がありました。実習先によっては同施設にある就労継続支援の利用者と同様の作業を行うところもありました。

### (3)今後の進路の視野を広げるために

実習でいただいた課題については反復練習が必要になりますので、御家庭でも取り組めるものがあれば御協力をいただきたいです。また、ゆっくりでも本人ができるのであれば家庭でも支援をせずに見守っていただけると本人の力になります。

就労系の施設や企業就労を目指すのであれば、いろいろな経験を重ねることが必要です。学校の校外学習だけでなく、放課後等デイサービス、家族での旅行、習い事など、たくさんの実体験を積み重ねることで生徒本人の生きる力になります。また、排せつ等身辺処理は早い段階で、自分でできることは自分でやっていくようにしていきたいと思います。チーム西特として教員、保護者、関係機関でお子さんの成長を支えていきましょう！

